



イズミグループ

社会・環境報告書 2016

ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY REPORT



毎日、わくわく夢いっぱい
の街。

you
me

みなさまと共に成長していきたい… 大きな夢の実現へ、さらなるチャレンジを

このたびの「平成28年熊本地震」により被災された熊本のみなさまに謹んでお見舞い申し上げます。

熊本県には「ゆめタウン」7店舗、「ゆめマート」26店舗（グループ会社含む）があり、平素より地域のみなさまにご愛顧いただいています。緊急時こそ一刻も早くお役に立ちたいと「災害時における物資協定」を締結している行政の要請に応え、地震発生翌日から支援物資のお届けを始めました。幸い従業員への人的被害はありませんでしたが、一部店舗は損傷を受けました。生活インフラとしての小売業の使命を果たすため、安全が確認された店舗から速やかに営業を再開しています。また全店で義援金募金にも取り組み、各地のお客さまの温かい気持ちを被災地へ届けます。地域にお住まいの方々が1日も早く日常の生活を取り戻せるよう、イズミは今後も復旧支援に最大限の努力をしております。

「お客さま満足度No.1」は、私たちの企業理念の最初にある言葉です。そして「働き甲斐のある企業」「エキサイティングカンパニー実現」という言葉は、従業員のみなさんがイキイキと働ける職場づくりを行うということです。イズミでは、意欲と能力の高い人に活躍のチャンスと、そのために正社員向けの人事制度の整備はもちろん、パート社員でも正社員水準の待遇と役職がめざせる職務給制度を導入しています。こうした取り組みが認められ、2016年には厚生労働省から「パートタイム労働者活躍推進企業優良賞」という栄誉をいただきました。今後も、人事・教育制度の充実に力を入れ、お客さまの喜びを自分の喜びとして業務に励める環境を整えていきます。

スーパーマーケットは極めて公共性・社会性の高い産業として評価されるようになりました。2015年11月にオープンした「ゆめマートすわの」（福岡県久留米市）は、長年地元で営業されていた小売店さまの閉店後、地域のニーズを受け、ライフラインを守るために出店した店舗です。イズミでは現在、M&Aに力を入れていますが、資金や後継者の問題などで困っている小売店さまにお力をお貸しすることで、雇用を守り、生活者を支えていくことを主眼にしています。地元で愛されてきた小売店は、それぞれ素晴らしい長所をお持ちです。その得手をイズミのノウハウと組み合わせることで相乗効果を生み、よりお客さまにご満足いただける店づくりと、地域活性化に力を尽くしていきます。

私たちは今、「夢のある1兆円企業をめざす」という大きな目標の実現に向けて、売上を伸ばすと同時に、1兆円企業にふさわしい信頼を醸成しようと努めています。2015年に出店したイズミ史上最大級の店舗「ゆめタウン廿日市」にも、その姿勢を反映しました。行政と協働し、2,000人規模の雇用を創出、最新設備を導入して省エネを実践するなど、公共性の高い1つの「街」としての機能を持たせています。

「雇用維持・創出を行う」「地域に活力をもたらす」「お取引先様とともに成長する」「株主のみなさまに還元する」「豊かな環境を守る」…イズミと関わるステークホルダーのみなさまと共に、成長していくことがイズミの夢です。コンプライアンス意識を高めながら、社員一人ひとりの誠実な努力と、旺盛なチャレンジ精神で歩んでいくことを誓います。今後も、みなさまのご期待に応え、未来に向けて前進し続けるイズミにご期待ください。

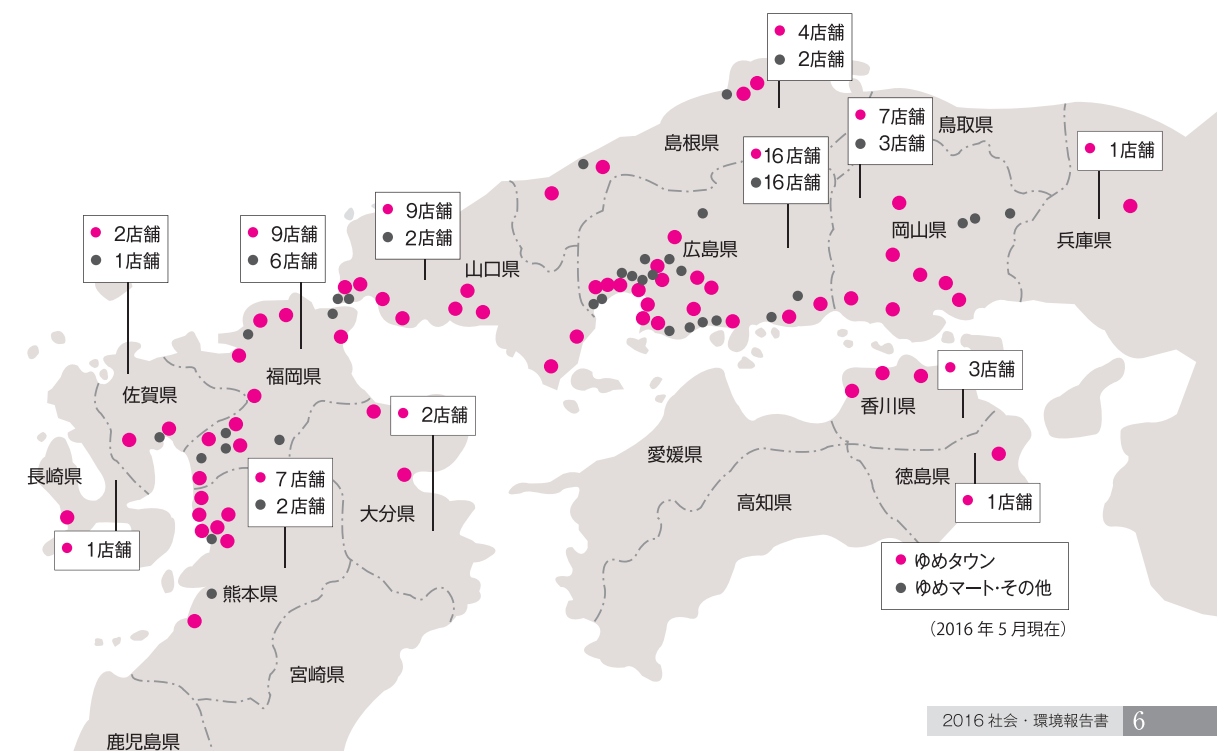
株式会社イズミ
代表取締役社長 山西 泰明

｜イズミ企業理念｜

お客さまの
満足度 No.1
をめざします

エキサイティング
カンパニー実現
をめざします

働き甲斐の
ある企業
をめざします



コミュニティを 元気で豊かに

「『ゆめタウン』ができて、毎日が楽しくなったね」。
イズミは小売業を行うだけでなく、地域経済の活性化や
コミュニティづくり、利便性アップにむけて取り組んでいます。

地域を 支える

活気呼ぶ
スポーツ・文化

地元チームの支援を継続 アート・カルチャー振興にも貢献

「広島メイプルレッズ」若手が躍進

広島県を代表する女子ハンドボールチーム「広島メイプルレッズ」を、イズミがメインスポンサーとしてサポートしています。若手選手の成長も著しく、2015年12月の日本ハンドボール選手権大会では3位に入賞するなど、全国でも知られる強豪チームです。イズミグループで働く選手も多数所属し、スポーツと両立して働く姿はほかの従業員の手本に。イズミグループ全体で、奮闘するチームに声援を送っています。



イズミテクノ所属の毛利選手が好セーブ

「you me」のロゴ入りユニフォーム



サンフレッチェ広島の ユニフォームスポンサー

2015年、見事J1王者に輝いたサッカークラブ・サンフレッチェ広島。2014年からイズミはユニフォームスポンサーとして、チームを支援しています。2016年シーズンからはユースへの協賛も開始、次世代を担う若い選手たちも応援していきます。

広げたエントランス



泉美術館で 気軽に美術鑑賞を

洋画、日本画、彫刻などを展示し、身近な美術館としてくつろぎの時間を過ごしていただけるのが1997年にオープンした泉美術館です。2012年にリニューアルし、展示スペースを拡大。季節の作品が楽しめる常設展や、多様な企画展を開催し、ご好評をいただいています。

「イズミ歴史写真展」の様子



イズミの歩みと 広島の復興を写真で紹介

2015年11月、創業54周年を記念してイズミ本社で「イズミ 歴史（歴史）写真展」を開催しました。また2015年夏には「ゆめタウン広島」「ゆめタウン廿日市」で、被爆70年記念写真展「広島の記憶」を実施、戦後の復興の歩みを紹介しました。

満員のスタジアムにユーくん・メーちゃんも登場



こどもの日に開催 ゆめタウンスポンサードゲーム

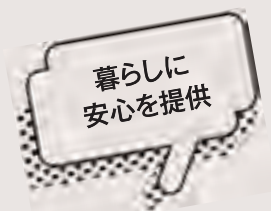
イズミはプロ野球チーム・広島東洋カープのオフィシャルスポンサーとして応援しています。2015年5月5日には、MAZDA zoom-zoom スタジアム 広島で第5回目のゆめタウンスポンサードゲームを開催。3万人以上の観客が見守る中、抽選で選ばれたお客さまによる花束贈呈や始球式が行われ、大変盛り上がりしました。

福岡ソフトバンク ホークスを応援

福岡ソフトバンクホークスを支援し、2015年4月1日にヤフオクドームでスポンサードゲームを開催しました。



3万人以上の観客で大盛況



公共性を高め、利便性を向上 地元経済発展・防災にも貢献を

新鮮でいきいき! 地元野菜を販売

「新鮮でおいしい」と好評をいただいているのが、産直野菜の販売コーナーです。「ゆめタウン廿日市」では「産地直送! ゆめの駅」売場で生産者の顔写真と一緒に野菜を陳列しています。イズミでは、これからも豊かな自然の中で育った野菜を、地元で食べていただく「地産地消」を推進していきます。



「ゆめタウン廿日市」の「産地直送! ゆめの駅」

アクセス改善に貢献 回遊性向上

各地の行政やバス会社と協働し、駅や商店街などと「ゆめタウン」「ゆめマート」をつなぐルートを設定し、生活の利便性と回遊性の向上に寄与しています。渋滞緩和と環境保全を目的とした「パークアンドライド」も、「ゆめタウン光の森」「ゆめタウン宗像」で実施中です。



「ゆめタウン久留米」のバス停

電子マネー「ゆめか」

「ゆめタウン」「ゆめマート」で便利に使える電子マネー「ゆめか」。カープやホークスなど地域限定カードが人気で、2015年には県立広島商業高校の生徒の意見を取り入れた「広商ゆめか」も発行しました。



キャラクターを使用した「広商ゆめか」

特別支援学校の販売会

2016年1月28日、「ゆめタウン光の森」で、熊本大学教育学部附属特別支援学校高等部のみなさんの販売会が開催されました。作業学習で心を込めて作った木工品や陶器、布小物などが、お客さまの人気を集めました。



販売会の様子

振り込め詐欺を防止

2015年7月17日、「ゆめマート松橋」の岳本友望香が振り込め詐欺を防いだことで、宇城警察署から表彰されました。店内のATMで電話をしながら操作をしているお客さまに声をかけたことが、被害防止につながりました。「ゆめタウン黒瀬」「ゆめマート浜田」でも、親身な対応で還付金詐欺を未然に防ぎ、地元の警察署から感謝状をいただきました。



表彰を受けた「ゆめマート松橋」の岳本友望香(左)

「いけばな池坊展」開催

2015年9月11～14日、「ゆめタウン佐賀」で「いけばな池坊展」が開催されました。にぎやかなステージイベントと美しい花々の競演で店内が華やぎ、お買物に訪れたお客さまも足を止めて見入っていました。



生け花の大作が並びました

期日前投票所が店内に

2015年10月12～17日、「ゆめタウン廿日市」に廿日市市長選挙・市議会議員補欠選挙の期日前投票所が設置されました。「お買物のついでに投票ができて便利」とお客さまに好評で、投票率の向上にも貢献できました。



期日前投票所を告知

公共料金の支払い対応

「電気料金などが気軽に支払えて便利」という声をいただいているのが、公共料金の支払い受付です。「ゆめタウン東広島」「ゆめタウン学園店」「ゆめタウン江田島」など10店のサービスカウンターで対応しています。



各種公共料金に対応

免税手続きで買物支援

ショッピングを楽しみに来日される、海外のお客さまが増えていますが、「ゆめタウン夢彩都」や「ゆめタウン別府」「ゆめタウン博多」「ゆめタウン広島」など18店舗のサービスカウンターで免税手続きを行い、お買物をサポートしています。



免税手続きを行うカウンター

各地で行政との協力を確認

イズミでは地域密着の店舗運営を行うため、各エリアの行政と協力体制をとっています。2015年6月6日には廿日市市と、地域活性化と市民サービス向上を目的に包括連携協定を締結しました。災害時の対応に関する協定も、各地の県や市町と締結し、緊急避難場所の提供や食料などの物資確保に当たることを約束しています。



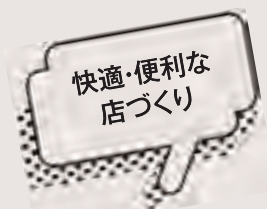
廿日市市の眞野市長(左)とイズミの山西社長

行政との協定一覧

包括協定		災害時における物資協定	
県名	締結日	市・町・施設名	締結日
広島県	2011年9月6日	熊本市(熊本県)	2010年5月24日
熊本県	2011年12月20日	大川市(福岡県)	2011年7月21日
廿日市市(広島県)	2015年6月6日	藍住町(徳島県)	2011年11月21日
		遠賀町(福岡県)	2011年12月1日
		行橋市(福岡県)	2012年2月1日
		広島市(広島県)	2012年2月22日
		井原市(岡山県)	2012年5月8日
		八女市(福岡県)	2013年2月1日
		佐賀市(佐賀県)	2013年3月21日
		うきは市(福岡県)	2013年4月1日
		大竹市(広島県)	2013年9月25日
		八代市(熊本県)	2013年8月5日
		周南市(山口県)	2014年3月14日
		廿日市市(広島県)	2015年6月6日
		玉名中央病院	2014年6月1日
災害時における物資協定		避難施設の協定	
県・市・町名	締結日	市・町名	締結日
香川県	2005年11月14日	中津市(大分県)	2011年8月25日
福岡県	2006年3月28日	藍住町(徳島県)	2011年11月21日
広島県	2006年10月5日	呉市(広島県)	2012年2月20日
佐賀県	2006年11月27日	別府市(大分県)	2012年4月27日
熊本県	2007年1月10日	大竹市(広島県)	2012年11月27日
山口県	2007年1月18日	福山市(広島県)	2013年7月12日
島根県	2007年3月20日	廿日市市(広島県)	2015年6月6日
長崎県	2007年9月21日		
菊陽町(熊本県)	2007年2月1日		
合志市(熊本県)	2007年6月1日		
高松市(香川県)	2007年11月21日		
防府市(山口県)	2008年5月22日		
瀬戸内市(岡山県)	2008年6月1日		
丸亀市(香川県)	2008年11月17日		
宗像市(福岡県)	2009年4月1日		
大牟田市(福岡県)	2009年9月1日		



2015年10月3日付 日本経済新聞より。徳島県藍住町の石川町長が「ゆめタウン」について言及



みなさまの声に耳を傾け 施設もサービスも充実

エスコート係が お買物をお手伝い

「エスコート係」は、お身体の不自由なお客さまのお買物のお手伝いをするため、各店舗の規模に応じて配置されている従業員です。駐車場から売場へのご案内をしたり、車いすを押して売場を一緒にまわり、商品選びをサポートしたりしています。「エスコート係」の活躍が、ソフト面でのバリアフリー強化につながっています。



商品選びの手助けも行います

バリアフリー推進

2000年以降に開業したイズミの店舗は、すべてバリアフリー新法の基準を満たしています。さらにリニューアルの際などに整備を行い、妊娠中のお客さま専用の駐車場の設置など、きめ細かい対応を進めています。



妊娠中のお客さま専用の駐車場

AEDを店頭に設置

AEDは心臓の心室細動が起きた際、救命に役立ちます。各店舗の店頭にAEDを設置し、さらに売場担当者や警備員を対象に研修会を実施。イザという時あわてないように準備し、実際に一命を取り留めたケースもあります。



店頭のAED

トイレが好事例に

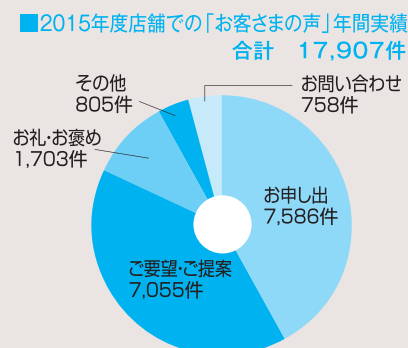
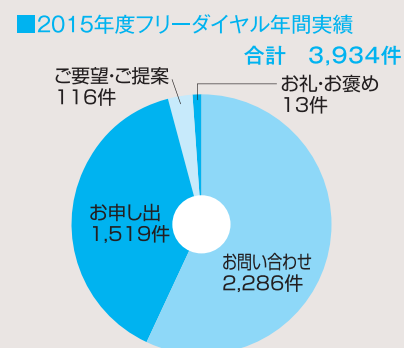
内閣官房の「暮らしの質向上」政府広報パンフレット・事例集に、「ゆめタウン廿日市」のトイレが好事例として紹介されました。基本性能だけでなく「心に作用するトイレ」としてデザインにこだわった点が評価されました。



明るいカラーリングのトイレ

「お客さまの声」に対応

本社「お客さま相談室」のフリーダイヤルや、店頭で設置している「お客さまの声」の用紙で届く声を、貴重な意見として店舗運営に生かしています。店舗で受け付けた声に関しては、支配人・店長または管理職がお返事を掲示させていただいています。



お客さまの声を聞くプロジェクト

店舗に集まったお客さまの声を、毎週1回検討するプロジェクトを始めました。例えば「時間を気にせずゆっくり買物を楽しみたい」という声を受けて、要冷蔵商品専用のコインロッカーを23台設置。そのほか車いすやソファの増設などを行っています。



プロジェクトメンバー

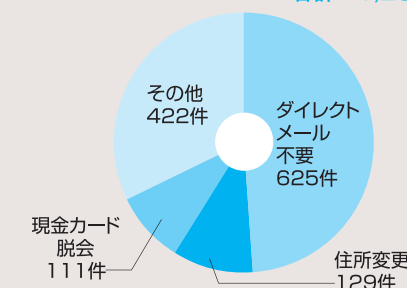


増設した冷蔵ロッカー

個人情報保護を実践

店頭では、会員カードへの加入やギフトの発送などで、住所や名前、電話番号などの個人情報をお預かりすることが多いもの。イズミではお客さまにご安心いただけるよう、プライバシーポリシーを制定し、個人情報の保護を実践しています。

■2015年度個人情報専用ダイヤル年間実績
合計 1,287件



品質チェッカーが活躍

食品の産地を正確に表示したり、消費期限切れの商品を販売しないことは、食の安全・安心を守るために非常に大切です。イズミでは全店に品質チェッカーを配置し、毎日午前11時と午後3時に品質鮮度と産地表示を確認しています。食品衛生法の講習や外部の準公的機関((財)日本冷凍食品検査協会・日冷検)の指導を受けた品質チェッカーは、率先して品質管理に取り組んでいます。

支配人・店長対象の農政研修・表示勉強会も実施し、店舗全体でルール徹底を図っています。

品質チェッカーの研修会



国産品の取り扱い拡大

「品質がよくて、安心感がある」と、メイド・イン・ジャパンの衣類へのご要望が高まっています。イズミでは、確かな技術を持つ国内メーカーの商品の仕入れを増やしています。



婦人服売場の日本製製品

カートに拡大鏡を

ご高齢のお客さまから「産地や原材料など、小さな字の表示を読むのが大変」という声が増えています。商品選びの手助けになるよう、拡大鏡つきのカートの導入を進めています。



拡大鏡を取り付けたカート

「食の安心」研修会にご協力

山口県が実施する「食の安心コミュニティ活動リーダー・食の安心モニター合同研修会」に、2015年11月12日、ご協力をしました。食品衛生や表示などについてのイズミの取り組みをご紹介した後、「ゆめタウン新南陽」に移動し、売場やバックヤードを見学していただきました。消費者のみなさまと意見交換をすることができ、相互理解を深めることができました。



イズミの取り組みについてご紹介

子育てを
温かく応援

子連れの買物をより快適に 楽しい学びと食育の場も提供

田植え・稲刈りで食と農を学ぶ

お客さま親子に、東広島市豊栄町の田んぼで田植えを体験していただく「広島県豊栄産こしひかり産地交流会 田植え体験イベント」。JA 全農ひろしまさまのご協力をいただき、毎年、にぎやかに開催しています。秋には、同じく豊栄町で稲刈り体験も行い、農業や食について学ぶ場になっています。



たくさんの親子が参加

授乳スペースや 広々とした遊び場を準備

「子どもを連れて、ゆっくり買物したい」というお客さまのご要望に応え、お子さまに喜ばれるカートや、授乳やオムツ交換を行うスペースの設置などを進めています。「ゆめタウン廿日市」には、滑り台などのある遊び場を準備。「ゆめタウン徳島」では毎月1回、「ゆめタウン子育てひろば」を開催中です。



「ゆめタウン廿日市」の遊び場

廿日市市民ホールや FM局で発信

「ゆめタウン廿日市」の「廿日市市民ホール」では、子育てや環境、アートなどさまざまな市民活動が行われています。また、店内の「FMはつかいち」のスタジオから、バラエティ豊かな地域情報をDJのみなさまが発信しています。生放送の様子をガラス越しに見学でき、お子さんたちにも大人気です。



「FMはつかいち」スタジオ

「ゆめタウン廿日市」で 絵本の読み聞かせ

2016年2月27日、「ゆめタウン廿日市」で特定非営利活動法人キッズNPOによる大型絵本の読み聞かせが行われました。午前11時、午後1時、午後3時の3回で合計440人が参加され、臨場感たっぷりの読み聞かせに魅了されていました。



たくさんの親子連れが集まりました

イモ掘りで収穫体験

2015年秋にお客さま親子をご招待して「イモ掘り体験イベント」を開催しました。軍手をはめて、長靴をはいて準備万端のお子さんたちは、土の中から大きなサツマイモを掘り出すたびに歓声を上げていました。お父さん、お母さんも、子どもと一緒に童心に帰り、収穫を楽しみました。



大きなサツマイモ発見

栄養バランス学ぶ「5ADAY」を店舗で

「1日5皿以上の野菜と200g以上の果物を食べよう」と提唱するのが、「5ADAY」の運動です。イズミでは、店舗にお子さんたちを招いて、食育教室で「5ADAY」を紹介しています。主に青果売場を舞台にした買物ゲームを楽しんでいただいたり、栄養バランスの学習、簡単な調理などを体験していただいています。野菜や果物をしっかり摂取する、健康的な食生活の基礎を学ぶ場として好評です。



栄養について学習

小学生の朝ごはんづくりを応援

2015年10月18日、「つくってみよう! 自分の朝ごはん」の表彰式が行われました。広島県の「こども未来づくり・ひろしま応援隊」の主催で、夏休みに朝ご飯づくりにチャレンジする小学生と家族を募集。朝食の大切さや親子のコミュニケーションの場づくりの支援を行っています。イズミも協賛企業として参加し、イズミ本社・営業企画部長の宇田豊が、優秀賞に選ばれたお子さまに賞状を授与しました。



20組22名に賞状が授与されました

当日配達を受け付け

ご高齢の方やお子さま連れの方の「商品を持ち帰るのが負担」という声を受けて、お買い上げ商品を3時間以内にご自宅までお届けするサービスを実施しています。現在、「ゆめタウン広島」「ゆめタウン博多」など28店舗に導入しています。



配達を受け付けカウンター

セルフレジを増設中

お客さまご自身に商品バーコードのスクリーンと精算をいただくシステム「セルフレジ」。待ち時間が短縮できると、好評をいただいています。「ゆめタウン広島」「ゆめタウンみゆき」など48店舗に導入され、今後も増やしていく予定です。



簡単に精算できる「セルフレジ」

職場見学・社会見学を 受け入れ

お子さんたちに働くことの喜びを知っていただきたいと、店舗で職場体験や社会見学を受け入れています。「ゆめタウン」や「ゆめマート」での職場体験では、たくさんのお子さんが作業や販売に取り組みました。店舗のバックヤードを見学する社会見学にもお子さまを受け入れ、支配人や店長をはじめとした従業員がご案内しました。



職場見学で作業を体験

自転車の空気入れ

自転車をご利用のお客さまに喜ばれているのが、駐輪場に設置した空気入れです。無料で自由にご利用いただけるので、特に自転車通学の学生さんたちが「ワンタッチで空気が入って楽」と便利に活用してくださっています。



無料で使える空気入れ

意欲を高め合い 成長していく

イズミの従業員はもちろん、お取引先様と力を合わせ、「ゆめタウン」「ゆめマート」を盛り上げ、共に成長していきたいと、さまざまな取り組みを行っています。

社会に 貢献する

社内外の
交流促進

お取引先様との絆を深め お客さま満足度を向上

視覚障がい者支援イベント開催

広島県、福岡県、香川県の「ゆめタウン」では毎年、視覚障がい者を支援するイベント「チャリティー・ミュージックソン」を開催しています。九州朝日放送(KBC)、中国放送(RCC)、西日本放送(RNC)とタイアップ、イズミとテナント様が共同で募金を行います。各店舗ではトークショーなどが開催され、来場した多数のお客さまからお預かりした募金は、音の出る信号機の設置などに役立てられています。

トークショーの様子



イズミ会総会の様子



お取引先様と絆深める イズミ会

1975年に発足したイズミ会は、お取引先様とイズミの絆を深め、共存共栄を図ることを目的とした会です。毎年5月開催のイズミ会総会では、お客さまのご満足をさらに高めていくと確認します。2015年5月には309社が加盟されています。

イズミ本社で開催した勉強会



イズミ社員向け 公正取引勉強会を開催

イズミにとって、お取引先様と対等な立場でおつきあいし、信頼を深めていくことは非常に大切なことです。担当者が集まり、独占禁止法や下請法について総括的に学ぶ「公正取引勉強会」を年に2回開催し、法令順守に努めています。

記者会見の様子



中国電力と提携結び 新サービスを開始

2015年12月24日、イズミと中国電力は、電力の小売全面自由化に向けた新サービス導入へ提携を結びました。2016年4月から、電気の使用で集めたポイントを「イズミ商品券」などに交換できる「ゆめタウンメニュー」が始まっています。

コンセショップの 接客コンテスト

2015年9月17日、イズミ衣料品部主催の「コンセショップロールプレイング大会」が開催され、1,384名の中から予選を勝ち抜いた20名がイズミ本社で接客対応を披露しました。また、専門店の従業員向け「ゆめ1(ワン)グランプリ」も開催しています。こうした取り組みを通して、企業・店舗の垣根を越えて接客レベルの向上につなげていきます。

コンセショップのみなさまが参加



多様性が
輝く組織性別や年齢に関わらず
いきいきと働ける職場を

ライセンス制度で女性管理職増加

イズミでは男性・女性の性別に関係なく、高い能力と意欲を持つ人材を役職に登用するため、「役職者登用基準の明確化(ライセンス制度)」を実施しています。

研修を受け試験に合格することで昇進の資格が得られるので、正社員だけでなく、パートナー社員の主任も数多

く誕生しています。

また、女性管理職やバイヤーの比率も、年を追うごとに高まっています。

役職名	1999年	2015年
女性管理職	9名	44名(8%)
女性バイヤー	14名	40名(38%)
女性主任比率	26%	53%(575名)

※女性主任はパートナー社員含む

広島市男女共同参画推進事業所表彰を受ける

広島市では、女性の能力発揮や職域拡大、仕事と家庭の両立支援などに力を入れる事業所を「広島市男女共同参画推進事業所」として表彰しています。2015年6月30日、イズミは法定基準を超える育児休業制度や、結婚・出産を理由にした退職者の再雇用制度、充実したキャリア支援を評価していただき、広島市役所で同表彰を受けました。



広島市からの表彰状

育児・介護との両立支援

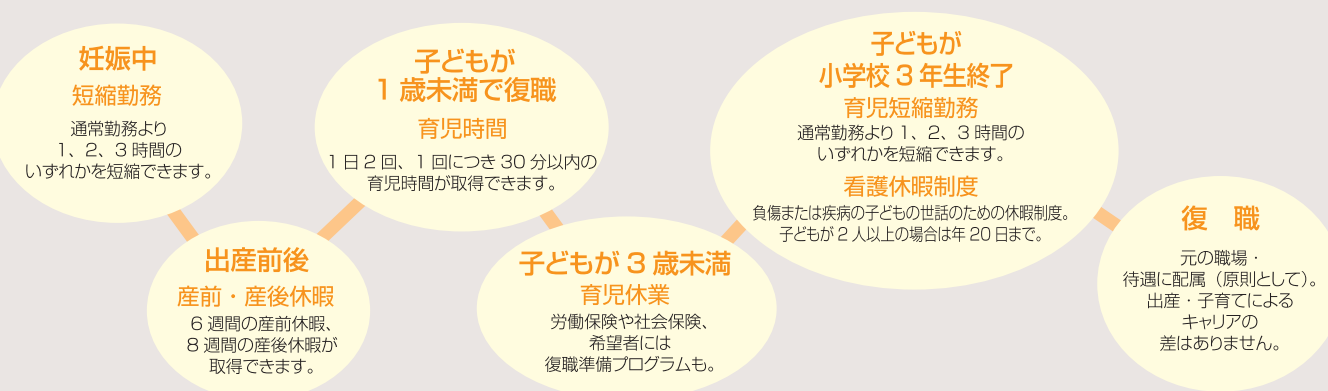
1995年からイズミでは「ポジティブアクション」を推進し、女性がはつらつと活躍できるよう支援してきました。出産・育児休業制度や看護・介護休業制度は利用者にヒアリングしながら改善を重ね、行政からも高評価をいただくようになりました。

社員の間にも「子育てや介護に頑張る同僚をカバーしよう」という意識が浸透し、実際に休暇を取得する人が増えています。また、両立を支える環境ができ、育児短縮勤務などの制度も活用されています。



育児休業から復帰し、活躍する社員が増加

イズミの育児休業制度



パートナー社員の待遇を明確化

店舗業務に奮闘するパートナー社員の努力を評価し、時間給に反映する待遇の明確化を行っています。研修とテストを経て、パートナー初級から中級、上級へステップアップできる仕組みを作りました。研修を受けることで、仕事の幅が広がるだけでなく、時間給もアップします。

研修とテストをクリアすることで、パートナー社員でも主任として活躍できる仕組みも従来から実施し、働き甲斐が高まると好評です。



売場で力を発揮するパートナー主任

パートタイムの活躍促進で表彰

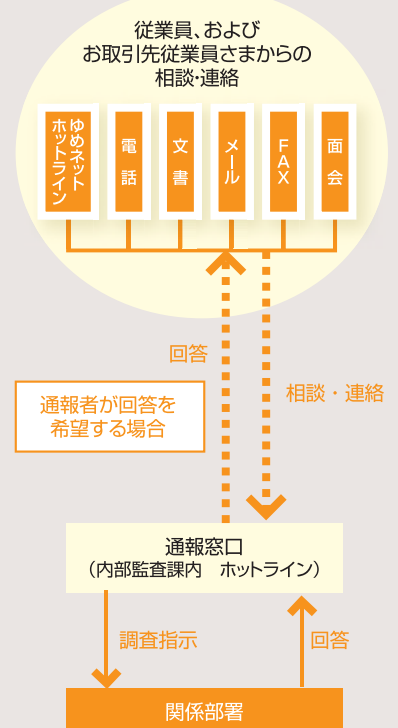
厚生労働省は、パートタイム労働者が活躍できるよう、積極的に取り組みを行っている企業を「パートタイム労働者活躍推進企業」として表彰しています。時間給に反映される評価制度や、研修・キャリアアップ制度など、イズミの日頃の活動が評価され、2016年1月20日に優良賞をいただきました。



人事部長の竹田裕彦が表彰式に出席(上段左から1人目)

通報を受け付ける
イズミホットライン

「公益通報者保護法」を遵守し、従業員やお取引先従業員さまからの法令違反などの相談に応じる「イズミホットライン」を社内に設置しています。内部監査課が窓口となり、通報者のプライバシーを守りながら、調査や通知などの対応を行っています。また、全イズミ労働組合本部にも同様の窓口を設け、コンプライアンス経営の強化を行っています。



意欲を保てる定年再雇用制度

「高齢者雇用安定法」を受けて、定年再雇用制度を設けました。満60歳に達した正社員・パートナー社員は、本人が希望する場合、定年後も65歳まで再雇用されます。パートナー社員の時給据え置き制度や、評価に応じた昇給制度など、意欲を保つ仕組みを整備し、多数のベテラン社員が張り切って働いています。

- 1 再雇用の条件を撤廃したので、誰でも安心して65歳まで勤務することができます。
- 2 定年前までのみなさんの頑張りを生かすため、パートナー社員の時給は据え置きます。
- 3 定年後も評価に応じた昇給を行うので、意欲が高く保たれます!(正社員・パートナー社員共通)

個々の成長
教育で支援

制度の充実と機会の提供で 意欲と能力を大きく開花

希望に応じて設定する キャリアプラン

イズミの人事制度の特長は、一人ひとりの目標に応じて、自分でキャリアプランを設定できることです。主任や店長などになりたい人は、研修とテストを受けてライセンスを取得することで、優先的に配属されます。また、定期的に上司との面接を行って目標を設定し、セルフチェックと上司との面接で評価を決定する仕組みを導入しています。

パートナー社員から正社員へ登用する試験制度も行っており、一定の条件と試験をクリアした人材が現場で活躍しています。



自ら学ぶ姿勢を大事に奮闘中

「ゆめ感動物語」で成果を発表

地元のニーズを熟知し、売場で中心となって働くパート社員を、イズミでは「パートナー社員」と呼んでいます。「ゆめ感動物語」は、パートナー社員が自ラ気づき、現場を改革した事例を、イズミ本社で発表する場。「刺身づくりの改善」「売場演出力アップ」「惣菜バイキングを成功に導く」など、仲間と一緒に汗をかき、時に涙を流しながら取り組んだ売場の工夫や効率アップなどのノウハウは、全店で参考にされます。



参加者はみな、晴れやかな表情

自己啓発につなげる ビジネススクール

イズミビジネススクールは、キャリア形成に役立つ自己啓発の場として行われています。マナーやリーダーシップ、マーケティング、コーチングなど、ビジネスの基本や能力を開花させる講座の数々を開講。2015年度は101講座に計約1,300名が参加しました。2015年度から新たな研修受講申請システムを導入し、申請作業がスピーディになりました。



真剣に学ぶ受講生

社内報で新システムを紹介



女性の活躍を推進する「ゆめCanプロジェクト」

「ゆめCanプロジェクト」(女性活躍推進プロジェクト)は2014年にスタートし、2020年までに管理職に占める女性の割合を20%以上にすることを目標にしています。女性も男性も、だれもが働きやすい職場にしていけるために、育児と仕事を両立しやすい環境整備や女性のキャリア形成支援を行っています。

2016年2月5日に開催した「女性リーダー育成研修」では、一般的に女性が苦手とされる論理的思考力の必要性や手法を学びました。参加者からは「筋道を立てて話せるよう、学びを生かしたい」「もっとスキルアップしたくなった」などの声が上がりました。



女性リーダー育成研修の様子

生鮮技能や接客 コンテスト開催

各売場に必要技術を磨くために、イズミグループでは各種コンテストを開催しています。鮮魚、精肉、惣菜、青果では、生鮮技能コンテストで商品化技術を競い、よりお客さまにアピールする技を磨きます。食品レジではスピードと正確さ、フレンドリーな接客を競う「チェッカーコンテスト」、衣料品部門ではロールプレイング大会で接客力を審査しています。



グループ会社の株式会社ゆめマートでの生鮮技能コンテスト



優勝者が作った刺身盛り合わせ

会長哲学に学ぶ 作文コンクール

2015年11月のイズミ創業月間に、「会長哲学本・作文コンクール」が開催されました。これは、イズミ創業者である山西義政会長の実践哲学が詰まった著書「混迷の時代こそチャンスだ 道なき時代に、道をつくる」から学び、生活・仕事に生かした経験を募集したものです。「ゆめタウン氷上」の武田多津子は、「『昨日より今日は、かしこい』という会長の言葉に、日常生活の中にある学びのチャンスを生かそうと思った」という主旨の作文で、金賞を受賞しました。



金賞に輝いた「ゆめタウン氷上」の武田多津子

カイゼン・三行提案の推進

イズミでは2S(整理・整頓)活動に2006年から取り組み、2011年度からトヨタ式カイゼンを導入しています。一つひとつの業務のムダを洗い出し、やり方を変えることで、効率が高まり仕事もしやすくなったと売場スタッフもやりがいを感じています。

日々の気付きや改善点、成果をまとめるのが「提案制度」です。2015年度から、よりシンプルに事例をまとめる「三行提案制度」を導入しました。



経費削減のポイントを紹介した社内報の紙面

エコ意識を高め 地球に優しく

「ショッピングの楽しさと、環境への優しさを両立させたい」。
イズミでは店舗のハードやソフトを見直し、
お客さまや地域のみなさまとも協力して環境保全活動を行っています。

環境を
守る

最新型の
省エネ店舗

従来店舗より56.5%節電 「ゆめタウン廿日市」

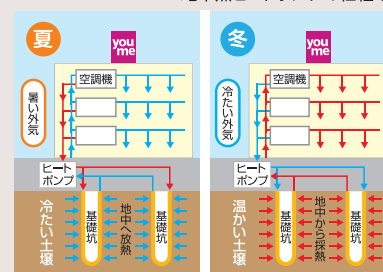
「ゆめタウン」初の太陽光発電

「ゆめタウン廿日市」は、年間のエネルギー使用量を限りなくゼロに近づけるよう取り組む「ZEB化推奨店舗」です。屋上には、「ゆめタウン」初の試みとして、太陽光発電パネルを設置、小型のスーパーマーケット1店舗分に相当する電気の発電が可能に。またエネルギー使用量をチェックし、効率よく消費・削減するシステム「BEMS」も導入し、当社の同規模店舗に比べて消費電力を約56.5%削減できます。



屋上に350kW発電パネルを約2,900㎡設置しました

地中熱ヒートポンプの仕組み



「地中熱」を活用した エコな冷暖房

「ゆめタウン廿日市」では、外気温と比べて室内との温度差が小さい地中熱を利用した地中熱ヒートポンプを、「ゆめタウン」で初めて導入しました。空調使用率が高いエントランスに使用し、CO₂の排出量抑制に努めます。

「ゆめタウン廿日市」の授乳室に有機EL照明を設置



LED照明を全館に 有機EL照明も試験導入

店舗内外に、消費電力の少ないLED照明を導入しています。さらにスケジュール調光システムで、時間帯ごとに店内照度を自動制御。また、次世代の照明として期待される有機EL照明を「ゆめタウン廿日市」で試験的に導入しています。

省エネタイプの冷凍食品ショーケース



冷蔵・冷凍ケースを 最適運転モデルに

食品の冷蔵ショーケース・冷凍ショーケースには、消費電力を抑える「インバーターエコシステム」を採用。おいしさと品質を守るため、一元管理でしっかり庫内温度を監視し、常に最適運転で省エネを図っています。

緑化が行われた本社ビル屋上



本社ビルは屋上緑化 全館に環境配慮

館内各所に環境への配慮がされているイズミ本社ビル。太陽光発電パネルが設置された屋上は緑化を行い、建物の熱負荷軽減に寄与しています。ビル中央部の吹き抜けには、自然換気を行い空調の運転を減らす役割も。発電量や電力使用量がひと目で分かるパネルは、省エネ意識向上に一役買っています。

電気自動車の 充電スポットを設置

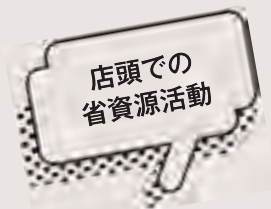
次世代型の自動車・電気自動車の充電施設の整備が、各店に広がっています。



「ゆめタウン廿日市」の充電スタンド

環境を守る

最新型の省エネ店舗



お客さまと力を合わせ いつもの買物で環境保全を

回収ボックスは地域のリサイクル拠点

牛乳パックや食品トレイ、ペットボトル、アルミ缶などの回収ボックスを、「ゆめタウン」「ゆめマート」全店の店頭で設置しています。お買物の際にいつでもトレイなどをご持参いただき、気軽に省資源活動に参加できる地域のリサイクルステーションとして活用していただいています。みなさまのリサイクル意識の高まりを受けて、回収量は年々増加中です。



「ゆめタウン廿日市」の回収ボックス

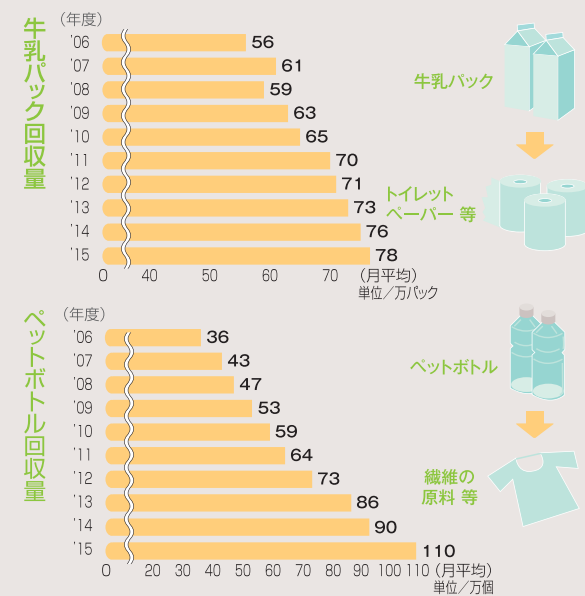
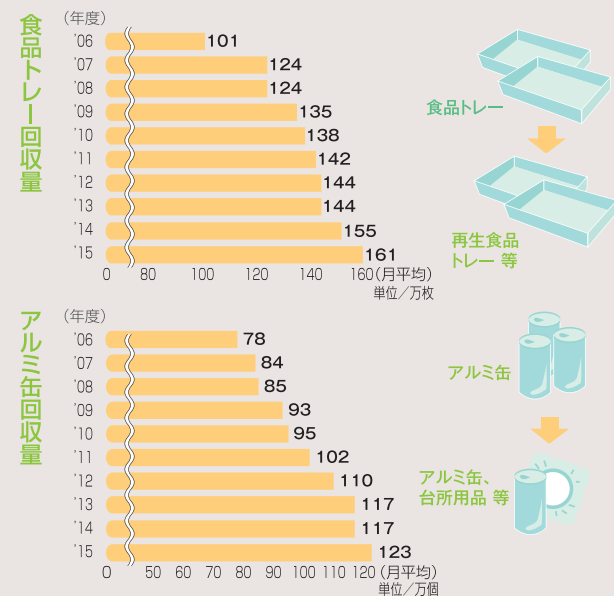
真心のギフトは「エコ包装」で

イズミでは、省資源・環境保全のため、ギフトのエコ（簡易）包装に取り組んでいます。従来、お中元やお歳暮などのギフトは、のし紙や包装紙などで丁寧に包むものでしたが、お客さまにご理解をいただき、母の日や父の日などのプレゼントでもエコ包装が広がっています。2015年度は、夏のギフト71.4%、冬のギフト74.2%をエコ包装にさせていただきました。



夏のギフトカウンターでエコ包装をご案内

店頭での容器回収量



古紙回収ステーション「エコ・ステ」を約50店舗に

「ゆめタウンみゆき」の「エコ・ステ」



「エコ・ステ」は、新聞や雑誌などの紙類をお買物のついでにご持参いただき、その重量に応じてポイントを差し上げる古紙回収ステーションです。ポイントを集めるとお買物に利用できるため、2010年の導入開始以来、「得しながら資源の有効活用に協力できる」とお客さまに好評です。現在までに54店舗に設置店が増え、スチール缶の回収も、2012年5月から「ゆめタウン徳島」で始まっています。

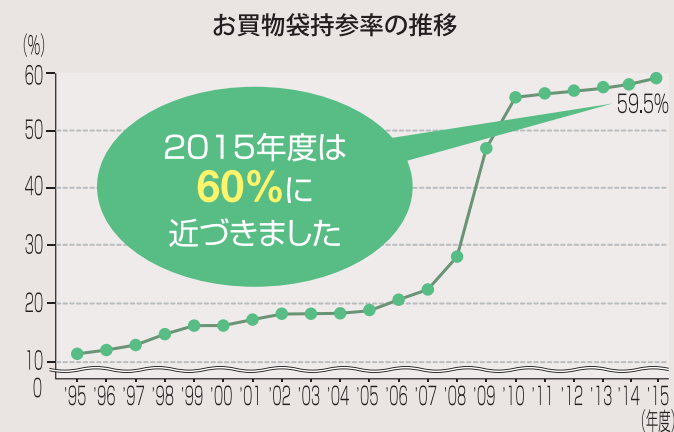
クールシェアに広島県内の31店舗が登録

地域全体の節電につなげるため、ご家庭のクーラーを消して、公共施設や小売店などで過ごす取り組みが「クールシェア」です。イズミは2012年から参加し、2015年は広島県内の31店舗が協力店として登録、割引クーポンを発行しました。



50円引きのクーポン券を発行

お買物袋持参率が年々上昇 約6割の実績に



レジ袋は、石油を原料として作られます。石油使用量やゴミの排出量、CO₂排出量を減らすことを目指して、イズミでは約20年間、行政や市民団体と協力しながらレジ袋の削減に取り組んでいます。広島県、山口県、大分県、出雲市、熊本市などでは、お買物袋のご持参をお願いし、ご希望の方のみにレジ袋を有償で配布しています。レジ袋の収益金は、地元還元しています。多くのお客さまにご理解をいただき、お買物袋持参率は約6割にまで増加しています。

不要な衣料品を引取り

シャツやジャケットなどの不要な衣料品を、最大10点までお引取りするキャンペーンを開催し、参加した方には500円分のクーポン券を3枚贈呈しました。お預かりした衣料品はリユースやリサイクルなどで有効活用しました。



お引取りした衣料品



キャンペーンの告知チラシ

社員による
エコ推進

ソフトとハードを整備 業務の中で省資源を実践

物流を効率化 輸送車台数を削減

2015年1月、広島市西区に「イズミ広島物流センター」が完成しました。4つの配送センターを統合し、ドライ商品とチルド商品を同じ車両で運ぶことで、輸送車台数を大幅削減できました。そのほか、プラスチック製の折りたたみコンテナ「通い箱」の活用など、配送時に地道な省資源活動に取り組んでいます。



効率的な「イズミ広島物流センター」

「見える化」で省エネ意識向上

電気の使用量削減に向けて、イズミ本社では「見える化(可視化)」を実施しています。太陽光発電の発電量や消費電力量をリアルタイムに見ることで、省エネ意識を高めています。「ゆめタウン廿日市」でも太陽光発電の発電状況を見ることができ、お客さまにも関心を持っていただいています。



「ゆめタウン廿日市」ecoステーションで発電量など表示

食品リサイクルで資源循環の輪を

食品売場のバックヤードから出る、魚のあらや廃油、野菜くずなどが食品廃棄物です。イズミではそれらの分別管理を徹底し、リサイクルを推進しています。熊本県では、専門業者の株式会社熊本清掃社にリサイクルを委託。食品廃棄物は肥料に再生され、農作物の栽培に利用することで、資源循環の輪をつくっています。2015年度は38.9%(3,269t)が再利用されました。

廃油は専門業者の株式会社フチガミ(福岡県)に委託し、バイオディーゼル燃料として再生しています。植物由来の燃料を使用することは、地球温暖化防止につながります。



食品リサイクルを委託している(株)熊本清掃社様



バイオディーゼル燃料に再生する(株)フチガミ様

おしゃれにクールビズ・ウォームビズ

「クールビズ」は、夏に涼しい素材や形の衣類を着用して冷房の設定温度を上げ、「ウォームビズ」は冬に薄く温かい肌着などを着用し、暖房の設定温度を下げる取り組みです。お客さまに楽しみながら実践していただけるよう、売場では、機能的かつおしゃれな衣類を提案しています。イズミ社員もクールビズに取り組み、夏期は上着、ネクタイなしで業務を行っています。



ノーネクタイのおしゃれを提案

「はつかいち環境フェスタ2015」開催

2015年10月4日、「ゆめタウン廿日市」横の「ゆめ桜公園」で、「はつかいち環境フェスタ2015」が開催されました。廿日市市の行政や環境団体の主催で、多くの企業や団体が出展。リサイクルマーケットやスタンプラリーなどに多数の市

民が来場されました。店内の「廿日市市民ホール」でも環境ポスター・標語の展示や表彰式が開催され、省エネ意識を高める楽しい1日となりました。



好天に恵まれ、多数の参加がありました



スタンプラリーが好評でした

清掃活動で環境美化

社員の自主参加により、店舗周辺の清掃活動を行っています。空き缶やタバコの吸い殻などを拾い、環境の整備を進めています。また、各地で行政や市民と協力し、清掃デーなどにも参加。地道な環境美化に取り組んでいます。



イズミ本社周辺での清掃活動

食品廃棄ロス実践を消費者団体が視察

食品廃棄を減らす取り組みは、食品を扱う小売業に欠かせません。イズミでは食品リサイクルを実践するとともに、廃棄物を減らす工夫にも力を入れています。日頃の実践について、2016年2月15日、広島消費者協会のみなさまが「ゆめタウン広島」を視察されました。研修室での説明に続き、実際に食品売場やバックヤードを30分間見学。質疑応答の場面ではたくさんの質問や有益な意見をいただき、今後の店舗運営の参考にさせていただきました。

「ゆめタウン広島」での視察



コンプライアンス経営実践の指針

日々の業務を誠実にを行うための基本を、全社で共有しています。

社会的責任を果たすための基本方針

1) 将来への成長・飛躍をめざして、変化への対応・挑戦・スピードのある経営を推進・実践していきます。そのために、地域の生活文化の中心として、夢づくり・街づくりをテーマに企業活動を行い、店舗展開することを社会的責任を果たすための使命とし、地域のよさを最大限に生かしながら、地域一番店をめざします。

2) 企業活動では、コンプライアンス経営を基盤とし、お客さま・地域社会・株主のみなさま・お取引先様との信頼関係の構築に努めます。
3) 役員および社員は、地域への貢献を誇りとし、人間的成長につながるやりがいを生み出し、お客さまに喜んでいただけることを生きがいとして、地域のみなさまの声を店舗に反映していきます。

1 法令を遵守して業務を遂行

イズミグループでは、法令を遵守しながら日々の業務を行うよう、「行動憲章」を制定。コンプライアンス・リスク管理委員会を中心に、全社員で学習を進めています。

【イズミグループ行動憲章】

- 1 社会にとって有益かつ安全な商品とサービスを提供し、お客さまの信頼と満足を確認します。
- 2 自由競争のもと、公正な取引に努めます。
- 3 顧客情報、内部情報が適切に管理される体制を構築します。
- 4 株主はもとより社会に対して、企業情報を積極的かつ公正に開示します。
- 5 自然(地球)環境に配慮した行動に努めます。
- 6 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、断固として対決します。
- 7 国際的な事業活動においては、国際ルールや現地の法律を遵守し、文化や習慣を尊重して、その地域の発展に貢献します。
- 8 創業の精神に則り、お互いを尊重し、謙譲の気持ちをもって行動します。
- 9 国内外の法律を遵守し、社内規則ならびに社内規範・企業倫理等のルールに従い、「人としてやってはいけないこと」を判断できる誠実な企業人をめざします。
- 10 経営トップは本憲章の精神を実現するため、社内外の声に耳を傾け、遵法文化形成のために社内体制の整備を行います。

2 個人情報保護を徹底

店舗などでお預かりしたお客さまの大切な個人情報を守るため、イズミグループの社員ならびにお取引先様と、共通の指針に沿って取り組んでいます。

【イズミのプライバシーポリシー】

- 1 弊社がお客さまからいただいた個人情報、ダイレクトメールなどの宣伝物の送付、商品・催事情報などのご案内、アフターサービスなどに利用させていただきます。
- 2 弊社は、個人情報の取り扱いに当たっては、漏えいなどがないように安全な管理に努めます。
- 3 弊社は、お客さまの個人情報を第三者に提供する場合は、お客さまから同意を得ます。ただし、法令などに基づく場合などの正当な理由がある場合は除きます。
- 4 弊社は、個人情報の取り扱いに関する業務を委託する場合は、委託先が個人情報の保護と安全管理を行うように監督に努めます。
- 5 弊社は、個人情報の取り扱いについては必要に応じて随時改善、変更を行うことがあります。
- 6 弊社は、お客さまから個人情報の開示、訂正等を求められたときは、合理的な範囲ですみやかに対応いたします。

3 エコ活動実践の指針

イズミでは、グループ社員全員で環境への取り組みを共有するため、環境理念・環境方針を定め、共に学び、共に業務の中で行動に移しています。

【環境理念】

イズミは、環境問題への取り組みが社会的責任を果たす最も基本的な活動と考え、地球市民として使命感に基づき、社員一人ひとりが自発的に行動し、環境保全活動の実践に努めます。さらに地域のみなさまと協力し、環境負荷の軽減と循環型社会の構築をめざしていきます。

【環境方針】

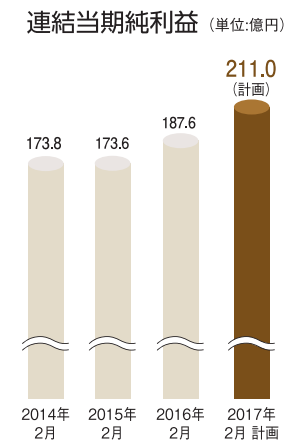
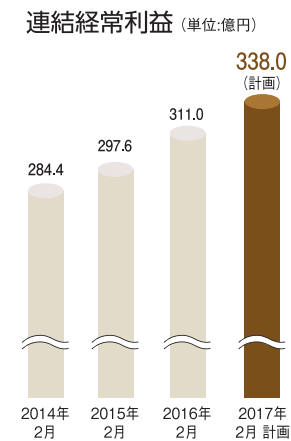
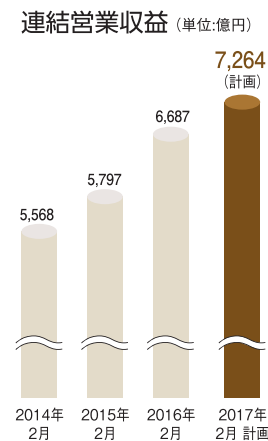
イズミは、企業理念である「お客さまの満足度No.1」を基本に、商品やサービスおよび店舗づくりを通じて環境保全への取り組みと、地域周辺の自然・環境との調和に努めます。また、環境保全活動を通じて、お客さまから信頼される企業をめざします。

- 1 環境に配慮した安全安心な商品・サービスの提供に取り組みます。
- 2 環境に配慮した店づくりをめざし、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物排出の抑制、リサイクル活動に努めます。
- 3 再生素材を推進し、環境への負荷が少ないものの購入および使用を行い、資源の有効活用を努めます。
- 4 地域のみなさま・行政と協力し、環境保全活動を推進し、社会貢献に努めます。
- 5 社員一人ひとりが環境に配慮した取り組みの実践および継続的な改善に努め、環境に関連した法規制を遵守します。

IRコミュニケーションを実践

最新情報の提供と利益配分に努め、信頼関係を築いていきます。

イズミグループ業績概要



◆株主優待制度による利益還元

イズミでは、利益成長に応じた1株当たり配当金(2016年2月期計画:64円)に加え、地域のお客さまにも株主になっていただきたいという思いもあり、お手軽・お得にお使いいただける株主優待券を贈呈しています。2011年2月より、「ギフト券」もお選びいただけるようになりました。また、泉美術館(広島市)ご招待券の贈呈も行っています。

◆グループ企業によるシナジー効果を追求

イズミグループは小売業を中核に、カード事業や外食事業、店舗施設管理事業、食品加工事業、不動産事業などを展開しています。株式会社ゆめカードは、電子マネー「ゆめか」の会員数を増やし、株式会社イズミテクノは公共施設の指定管理者として実績を高めるなど、各社が成長を続け、互いに補完しながらシナジー効果を生んでいます。

◆IR情報の積極的公開

年2回の決算説明会開催に加え、随時情報公開に努めています。イズミホームページでは、決算説明資料、月次売上、株価情報等を掲載しています。また、海外の投資家のみなさま向けの海外IRも行っています。



相互に補完しあうイズミグループをホームページで紹介



毎月更新する「月次売上」



ポイントを押さえた「報告書」

ご所有株式数	一回当たりの贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	10枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	15枚 (3,000円相当)	
300株以上	20枚 (4,000円相当)	
400株以上	25枚 (5,000円相当)	
500株以上	30枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	50枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	250枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	300枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	400枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	500枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2,000円以上お買い上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用いただけます。対象店舗はイズミ全店、ゆめマート、スーパー大栄、ユアーズ、その他
※上記とは別に、財団法人泉美術館ご招待券を送付

Contents

夢を深める 地域に拡げる

2015—2016

4つのアクション 2

グループビジョン

株式会社イズミ

代表取締役社長 山西 泰明 ご挨拶 5

地域を支える

活気呼ぶスポーツ・文化 7

暮らしに安心を提供 9

快適・便利な店づくり 11

子育てを温かく応援 13

社会に貢献する

社内外の交流促進 15

多様性が輝く組織 17

個々の成長 教育で支援 19

環境を守る

最新型の省エネ店舗 21

店頭での省資源活動 23

社員によるエコ推進 25

CSRマネジメント

コンプライアンス経営実践の指針 27

IRコミュニケーションを実践 28

企業統治(コーポレートガバナンス)を推進 29

リスク管理・内部統制教育を強化 30

社会・環境報告書の作成にあたって

●編集方針

イズミでは、CSR(企業の社会的責任)に関わる取り組みを多くの方々にご理解いただくために、社会・環境報告書を作成しています。

報告項目の選定に当たっては、ステークホルダーのみなさまの関心事と、イズミが事業活動として重視している事項を考慮して取捨選択し、本書にまとめています。内容としては、CSR活動の中心である店舗・従業員の活動をメインに取り上げています。

記事の作成に当たっては、読みやすさ、理解しやすさに配慮し、写真やグラフ、図などを積極的に取り入れています。

【最新情報について】イズミホームページにて、最新の取り組みや詳細な情報を紹介しています。併せてご覧ください。 URL <http://www.izumi.co.jp/>

●報告書の発行

今回の発行 2016年5月(2015年3月1日~2016年2月29日の取り組み内容)

※一部、2015年3月以前、2016年3月以降の取り組みについても報告を行っています。

次回の発行予定 2017年5月(2016年3月1日~2017年2月28日の取り組み内容)

●報告書の対象

株式会社イズミの取り組みを基本として、グループ会社も一部含まれています。

●対象読者

お客さま、店舗の近隣住民のみなさま、行政、お取引先様、株主のみなさま、学生、NPO、NGO、投資家のみなさま、従業員など

夢を深める 地域に拡げる

2015—2016

4つのアクション

「地域密着の姿勢を大切に、みなさまとともに発展したい」という思いを込めて実践した数々の取り組みの中から、4つの活動をピックアップしてご紹介します。



「ゆめタウン廿日市」オープン

2015年6月11日、広島県廿日市市にゆめタウン史上最大級の店舗「ゆめタウン廿日市」がオープンしました。廿日市市が推進する都市計画「シビックコア地区」の商業施設としての期待は大きく、オープン当日には約7万人のお客さまが来店されました。201の専門店とイズミが集合した売場には幅広い商品が集まり、公園に隣接したテラス席のレストランやカフェ、900席のフードコートなど、飲食も充実。広い通路と開放感あふれる吹き抜け、全館に約500席設置されたソファなど、多くのレストスペースを設け、三世代で一日ゆっくり過ごしていただけます。こうした店づくりを評価していただき、「ゆめタウン廿日市」は「ストア・オブ・ザ・イヤー2016商業集積部門」最優秀賞をいただきました。



敷地面積は5万㎡以上のビッグスケール 「ストア・オブ・ザ・イヤー」の盾



子ども向けの売場が充実



公園と水辺に隣接したゆとりあふれる立地



約3,400台の駐車場を備えた店舗



1周約550mのサーキットモールは中国地方最大級の規模

会 社 概 要

(2016.2.29現在)

会 社 名	株式会社イズミ
本 社 所 在 地	広島県広島市東区二葉の里3丁目3番1号
資 本 金	196億1,385万円
設 立	1961年10月27日
従 業 員 数	正社員 2,339人 パートタイマー 5,031人(1日8時間換算)
店 舗 数	103店舗(エクセル単独店舗の店舗含む)
店 舗 地 域	広島県、岡山県、山口県、島根県、福岡県、佐賀県、 大分県、長崎県、熊本県、兵庫県、香川県、徳島県 他
事 業 内 容	ショッピングセンター、ゼネラル・マーチャンダイジング・ストア(GMS)、スーパーマーケット等の業態による衣料品、 住居関連品、食料品等の販売およびインポート事業
グループ会社	(株)ゆめカード(クレジット・金融事業) (株)イズミテクノ(店舗施設管理) イズミ・フード・サービス(株)(外食) 他



**you
me**

作成部署およびお問い合わせ先

株式会社イズミ 顧客サービス部

〒732-8555 広島県広島市東区二葉の里3丁目3番1号

TEL 082-264-3211(代) URL <http://www.izumi.co.jp/>



印刷時に有害な廃液が出ない
「水なし印刷」で印刷しています。

